

## 巣立ちはもうすぐ 6羽のヒナに足環を装着

国の天然記念物であるコウノトリのヒナ6羽に、個体を識別するための足環を装着する作業が、6月2日(月)に町内2か所で行われました。

これらのヒナは、今年4月にふ化が確認されたもので、この日は親鳥が巣を離れたタイミングにあわせて、兵庫県立コウノトリの郷公園の職員が高所作業車を使って巣に接近しました。ヒナは1羽ずつ丁寧に巣から降ろされ、足環の装着とともに、羽毛や血液の採取、体重や体の大きさの測定も行われました。いずれのヒナも元気に育っていることが確認できました。

作業を行った同園の松本主任研究員は、「八頭町は自然が豊かで、コウノトリにとって子育てしやすい環境です。餌も多く、ヒナは順調に育っています」と話していました。



ヒナが怖がらないように目隠しをし、手早く足環が装着されました

## 八頭町が「地方創生伴走支援制度」の支援対象に

国が進める「地方創生伴走支援制度」は、中央省庁の職員が自治体に寄り添い、これまでの経験や専門性を活かして継続的に支援を行う取り組みです。

今年度は全国で60の自治体が対象となり、八頭町には農林水産省などから3名の支援官が派遣され、1年間にわたりオンライン会議や現地視察などを通じて支援が行われます。

6月3日(火)には初回の現地視察が行われ、いなば新水園では町農業振興協議会果樹部会の丸山部長が、梨農家の現状や課題について説明しました。支援官たちは町の様子を実際に見聞きし、地域の実情を把握しました。

今後は、こうした現場の声をもとに、町と支援官が協議を重ねながら課題解決に向けた取り組みの検討を進めていく予定です。



農業振興協議会果樹部会丸山部長の説明を受ける地方創生支援官ら

## 第69回鳥取県植樹祭が八頭町で開催 森林とふれあい、未来へつなぐ緑の祭典

森林の恩恵や大切さを伝え、地域の魅力発信や森林保全意識の向上、さらにはSDGsや脱炭素への貢献を目的とする「第69回鳥取県植樹祭」が、5月31日(土)に八東総合運動公園で開催されました。

会場では、寄せ植え体験や町産ヒノキを使った工作教室、林業機械の乗車体験、地元出演者によるステージ発表、参加者による植樹などが行われ、家族連れなどにぎわいました。

午後からの式典では、八頭高等学校書道部による書道パフォーマンスと八東平成太鼓がオープニングを飾り、「森



機械を操作して木材の組立に挑戦!



参加者植樹でアジサイを植えたよ!

林・みどりへの想い」の発表や、美しい森づくり功労者」などへの表彰が行われました。

また、町と友好交流協定を結ぶ韓国・横城郡から代表団が来町し、友好交流20周年を記念して、平井伸治鳥取県知事や吉田英人八頭町長らとともに記念植樹を行いました。

横城郡行政福祉局のユン・グァンギョ局長は「このような機会に八頭町を訪問できて光栄です。今後、より強い絆を築いていきたい」と話していました。



記念植樹を行う  
ユン・グァンギョ行政福祉局長(左)



八頭高等学校書道部による  
作品の前で演奏する八東平成太鼓

## 八頭中学生が役場で 職場体験

八頭中学校の職場体験学習「ワクワク八頭中」が、5月13日から15日の3日間、町内外の事業所で実施されました。この取り組みは、地域社会に学び、地域の人々とともに生きる心や感謝の気持ちを育むとともに、自らの進路や生き方を考えるきっかけづくりを目的に、毎年2年生が参加しています。

このうち4名が八頭町役場本庁舎で職場体験を行いました。企画課ではケーブルテレビの撮影や広報誌の取材、産業観光課ではドローンによる圃場撮影、総務課防災室では防災用品の組立、建設課では令和5年の台風7号で被災した私都地区の復旧工事や道路補修現場の見学などを行いました。

役場の様々な業務にふれた3日間。この経験を通じて地域に関心をもち、将来は町を支える存在となってくれることが期待されます。



広報取材に挑戦!

## きんぐり やずとく

まちで輝く人や、魅力あふれる場所・ものを紹介するコーナーです。2カ月に1回掲載します。

「やずとく」には、「知ことへ」「行」と「く」や「とく」などの意味と、知るところと得する、という想いを込めました。八頭町の素敵な魅力、あなたも「やずとく」しませんか?



小倉玲輝記者



菅原咲希記者

この春、R29活性化委員会から「映画ルート29ロケ地MAP もうひとつのR29物語」が発行されました。約25年という長きにわたりR29沿線の魅力を伝えるためにさまざまな活動に取り組んでいるR29活性化委員会の小山 由香さん。

今回はワクワク八頭中で職場体験にきた小倉玲輝さんと菅原咲希さんが、小山さんにインタビューを行いました。

**活動のきっかけは?**  
国道29号線は、鳥取道ができてから利用する人が減少してしまいました。それがきっかけで、沿線の活性化が必要だと思い、有志でR29活性化委員会を立ち上げました。

昨年、ルート29の映画が公開され、映画の中でもいつも見ている風景が美しく映されていて、勝手ながら自分たちの活動が報われた気がしてうれしかったです。



ガードパイプを八頭ブラウンに塗り替える作業を地域の人と一緒にいる小山さん

**どんな活動をされていますか?**  
R29の魅力を伝えるため、マップ作りをし、沿線にお花を植えて、人が通りたいと思う道にする活動をしています。また、日本初の活動だそうですが、美しい花御所柿畑が広がる沿線のガードパイプを、景色になじむ「八頭ブラウン」に塗り替える活動などに取り組んでいます。



「映画ルート29ロケ地MAP もうひとつのR29物語」は八頭町観光協会、道の駅「はつとう」などに配布されています。



発行されたマップを手にする小山さん

**今後の展望は?**  
草取り選手権など誰でも楽しく参加できるようなイベントを開催し、それをきっかけに自分の住んでいる町をきれいにしようという人をこの先の活動に繋げていきたいと思っています。

**これまでの活動で印象に残っていることは?**  
自分たちの活動に協力してくれる人がたくさんいることです。みんなで景観を守っていくということは一番素晴らしいことだと思います。